

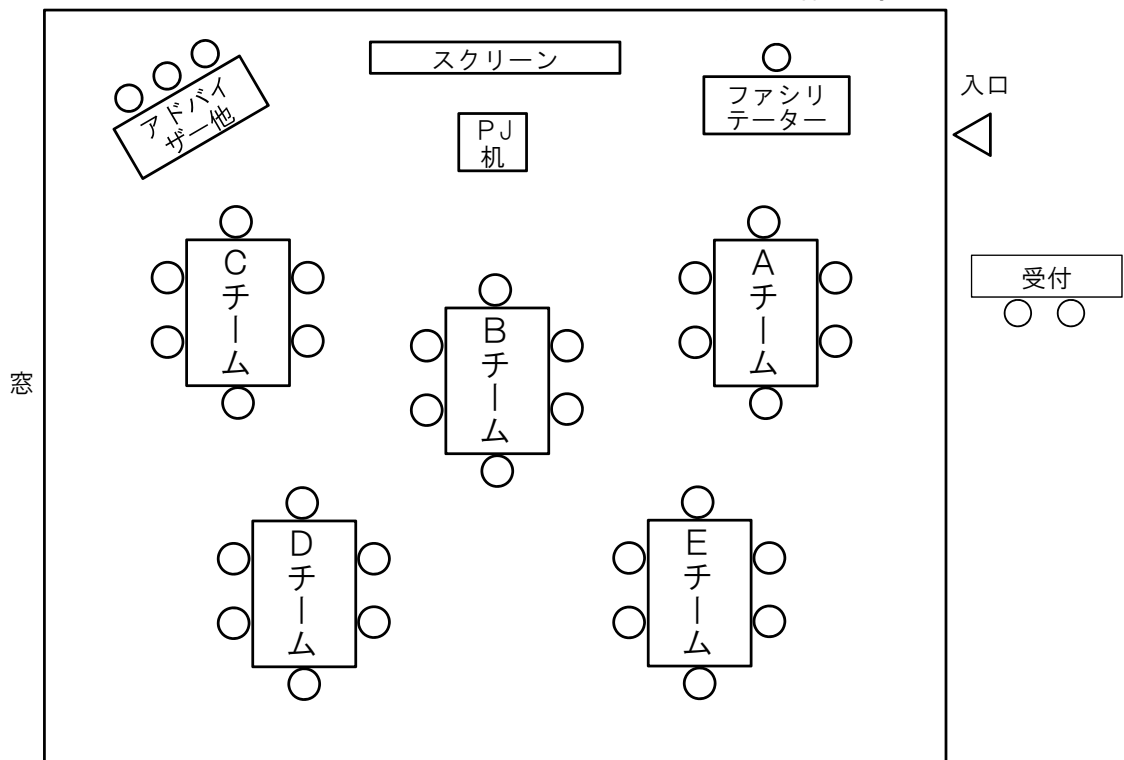
「戸隠地区の公共施設を考える」 市民ワークショップ ～第3回～

2018年8月19日

主催：長野市（公共施設マネジメント推進課・戸隠支所）
協力：戸隠地区住民自治協議会
開催支援：日本管財(株)（一財）長野経済研究所
信州大学工学部建築学科

会場案内図

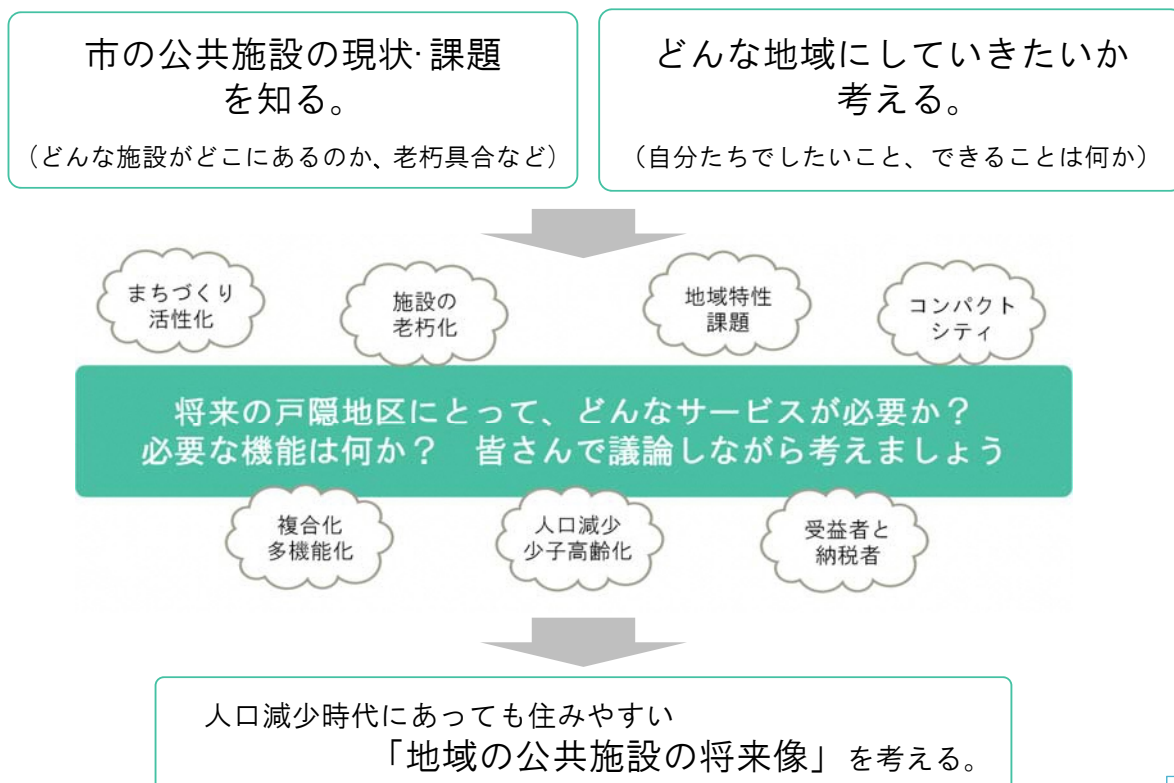
戸隠支所 2階会議室



ワークショップ全体の流れ

	時間	内容	場所
第1回 ワークショップ	6月10日（日） 14：00－16：00	オリエンテーション グループワーク 将来どんな地区にしていきたいかを考える。	戸隠支所 2階会議室
第2回 ワークショップ	7月8日（日） 14：00－16：00	グループワーク 戸隠の公共施設の課題と、その解決方法を考える。	戸隠支所 2階会議室
第3回 ワークショップ	8月19日（日） 14：00－16：00	グループワーク 戸隠の公共施設の将来像を考える。	戸隠支所 2階会議室

ワークショップの進めかた

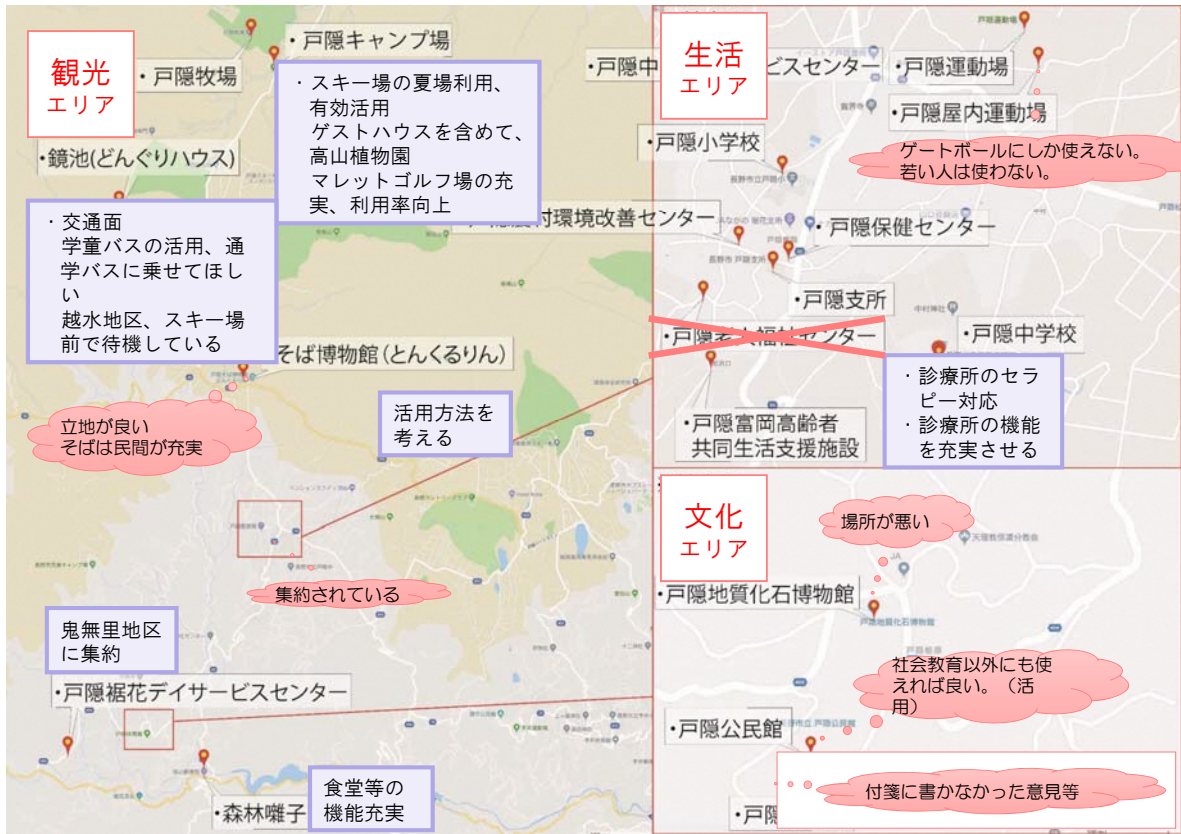


今日のスケジュール

時間	内容	詳細
14:00-14:20	第2回グループワークの振り返り	・第2回グループワークの振り返り ・公共施設のかしこい見直し方とは？ (ファシリテーター) ・第3回グループワーク 各グループの進め方 (信州大学)
14:20-15:20	グループワーク ～戸隠の公共施設の将来像を考える～	
15:20-15:40	各グループ最終発表	1グループ3分で発表
15:40-15:55	講評・あいさつ	信州大学寺内先生からの講評 住民自治協議会・主催者からのあいさつ
15:55-16:00	アンケート記入・記念撮影	

第2回ワークショップ グループワークの振り返り

Aグループ



<参考> Aグループ (再配置案の例)



グループワークテーマ

いつまでも住み慣れた地域で生活する環境を作る

第3回グループワークで話し合うこと・課題

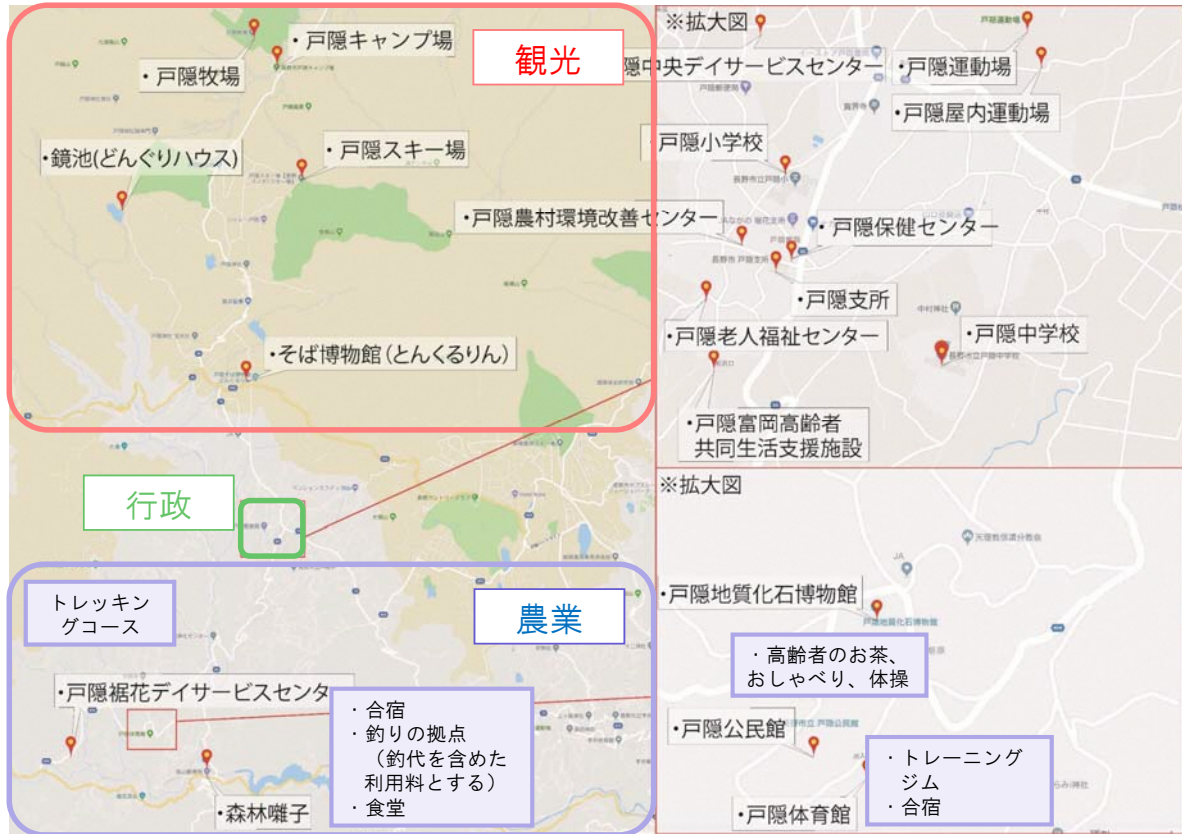
- ①振り返り
前回までの確認と、今後の方向性の決定
(裾花デイ、化石博物館、そば博物館、屋内運動場)の再編案を。学校まで踏み込めるか・・・
- ②高齢化(課題)
一人暮らしの見守り(1回目の意見)など、福祉サービスの意見はなかった。
 - ・住民の交流
 - ・多世代交流も含め、いきいきと安心して住める戸隠について議論してもよいのでは。
(助け合い事業など=できること)
- ③交通(課題)
本数が少ない。廃止になると困る。
利用すること(=できること)が維持につながる。

グループワークでの主な意見

- ①「いつまで運転できるかという問題」から交通(バス)に着目
地図に落とすと、バス路線に公共施設がある程度集約化されている。
越水(スキー場エリア)はスクールバスが使えない。病院も遠い。支所付近は複数の路線がある。柵は簡単に長野に出られる。
同じ戸隠でも地域により違う。
バスは使わないと廃止になってしまう。
- ②生活
以前は店もあったが無くなった。買い物はほとんど長野へ出る。運転できなくても生協の宅配があるので食べるのには困らない。
- ③公共施設全体
「観光」「生活」「文化」エリアに分けられるのではないか。それぞれをバスでつなぐ。
- ④個別施設
 - ・裾花デイは鬼無里デイを利用すればいい。
 - ・化石博物館をそば博物館にすれば多くの人に見てもらえる。
 - ・屋内運動場は使い勝手が悪い
 - ・スキー場エリアの夏期シーズンの充実
 - ・森林囃子に食堂
 - ・セラピーや診療科目など診療所の充実
(観光客のけが等への対応も必要)
 - ・子供が減ったら学校もどうなるか分からない

- いつまで車を運転できるか
⇒今あるバス路線を基点に公共施設を考える。
 - ・バス路線を増やす(増やしても使わないと・・・)
 - ・通学バスに市民も乗れると便利。
 - ・食材等は宅配サービスがあるので、近くにお店が無くても困らない。
 - ・戸隠は既に公共施設がまとまって配置されている。まとまった拠点をバス路線でつなぐ。
⇒支所周辺:生活エリア
⇒地質化石博物館周辺:文化エリア
⇒戸隠スキー場周辺:観光エリア
そのエリアで異用途を混在させないほうがよい。
- 生活エリア
 - ・診療所:機能充実(緊急時等は市内病院へ行かなくてはならない)、セラピー対応、結構待つ
 - ・戸隠運動場等:ゲートボール場が土間
 - ・農村環境改善センター:活用方法検討
- 文化エリア
 - ・地質博物館:ここにあるのは異質
 - ・森林囃子:食堂機能充実
 - ・裾花デイサービス:鬼無里地区に集約
 - ・戸隠体育館:
- 観光エリア 合宿等での使用が多い
 - ・とんくるりん:周辺に民間施設あるので必要か
 - ・戸隠スキー場:グリーンシーズン利用、マレットゴルフ場充実させる

Bグループ



グループワークテーマ

新しい「戸隠」を作る！！

第3回グループワークで話し合うこと・課題

課題として、第2回であげられた活動や課題が公共施設でどのようにできるかを検討する必要がある。施設をもっと考えていながら利用できれば、もっと人が集まるのではないかな。

グループワークでの主な意見

- 前回のグループワークから、「戸隠らしさ」を考えた。
- ・自然：自然が豊か、四季がはっきりしている、空気がきれい、登山、植物園、ホテルの里、星の観察（プラネタリウム）
 - ・農業：高原野菜、野菜がうまい、農業体験
 - ・ひと：人情が厚い、人口減少が続く
 - ・害獣：害獣の増加が続く、害獣が多い
 - ・観光：観光地、神社、そば、文化的なものが多い、民泊、紅葉伝説
 - ・地域ごとの特徴が違う
 - ：北は戸隠地区という観光地、南は農業が盛んな柵地区に元気が欲しい

戸隠の特徴として、南北の特徴の差が大きいことが挙げられた。Bグループでは、南側を中心に考えることにした。

- 南側で戸隠らしさを出すためにはどうしたらよいか。
- ・森林囃子を合宿や釣り、食堂の拠点とする
 - ・公民館や体育館を活用する
 - ・キャンプ場でトレッキングが出来ないか

Cグループ



グループワークテーマ

皆が使える直売所を中心とした交流施設を作る！

第3回グループワークで話し合うこと・課題

- ・ 公会堂での活動を集約することがベースになっているため、公共施設マネジメントの議論までは至っていない。
→集約や他地区の施設利用を検討する。
- ・ 交通の便が懸案となる。地区内の公共交通を柔軟に使えるようにしたい。特に森林囃子は、直売所・ホール・浴場があるのに、足だけない。

期待したいこと

若者や観光客とも交流できれば。
「高齢者の健康」が戸隠の価値になれば。
→ブランディング 拠点に向かう交通が強化されれば

グループワークでの主な意見

- ①前回の振り返りから、「高齢者福祉」×「コミュニティ」をテーマに議論することを提案。
- ②各地区の公会堂で「健康教室」や「おしゃべりサロン」など、体力維持と交流のための取り組みがある。実施状況や参加人数は地区によってまちまち。いくつかの拠点がある方が実施しやすい。（開催場所が遠くなると出不精になってしまう。）
- ③高齢者が「行き慣れている場所」「行く理由になる場所」は？
夏季は多くの方が農業をしている。家庭用の野菜が主だが、家庭では消費しきれていない。直売所に納品している人もいる。
直売所を高齢者の交流拠点にできないか？
- ④地区内の直売所は、バードライン上に3軒、とんくるりん、森林囃子、柵のJA（週1回）。
ここから、「とんくるりん」、「森林囃子」、柵JA近くの「戸隠公民館」、支所エリアの拠点として「保健センター」をピックアップ。
「公民館、保健センター」については直売所機能を付加できないか。
- ⑤直売所を身近で集まりやすい拠点とすることで、地域の交流の場とし、定期的に健康教室などを実施することで、高齢者の健康につながる。

D グループ



グループワークテーマ

人と人をつなぐ拠点作り

第3回グループワークで話し合うこと・課題

- ・人口減
- ・若者の働く場がないので、戻ってこない
- ・人が集まり楽しめる場所がない
- ・柵方面は何もない
- ・柵へのルートが分かりづらい。

グループワークでの主な意見

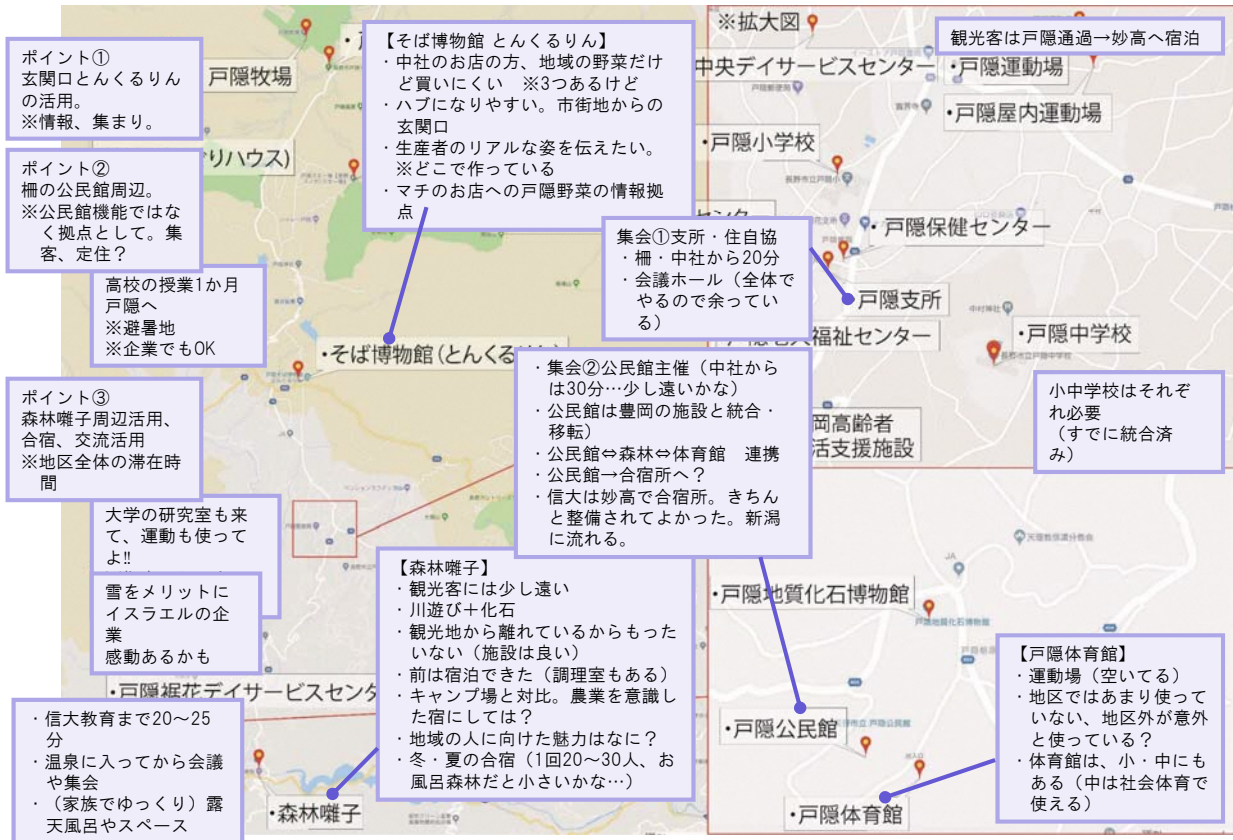
- ・戸隠神社周辺は観光で人が集められるため公共交通等充実しているし人もいる
- ・一方で柵周辺は何もない
 - 何もないことを売りにできないか。
 - 今ある自然、田畑、施設をフル活用
- ・地質化石博物館は館長さんも含め魅力がある
- ・地質化石博物館を拠点に、交流イベントを開催
 - ナイトミュージアム開催、田んぼ学習、夜の自然観察
- ・博物館までの道のりが分かりづらい
 - 篠ノ井のように道しるべや散策ルートの提示
- ・博物館が小学校だったことを活用
 - 体操教室の開催等地区の子どもからお年寄りまで集える場にしていく
- ・都会になじめない子どもの受け皿にならないか
- ・短期滞在→長期滞在→移住・定住の流れを作りたい
- ・住民が先生に

戸隠公民館・体育館

→合宿等の誘致に利用。地区外の利用希望とマッチングを図る（運営はNPOを立ち上げる）

- ・教員住宅、キャンプ場、森林囃子等は宿泊を促すために活用

Eグループ



グループワークテーマ

戸隠地区南北の結びつきと
長野市街地との関係性

第3回グループワークで話し合うこと・課題

グループワークでの主な意見

- 戸隠地区南北の結びつき
 - そば博物館(とんくるりん)の活用
 - ー 観光と戸隠野菜の情報拠点にリニューアル
 - ・市街地からの玄関口でハブになりやすい
 - ・観光客が立ち寄る拠点、蕎麦だけではない。
 - ・野菜生産者のリアルな姿を伝えたい。
 - ・中社のお店の方にも地域の野菜を販売
 - ・長野市街地のお店への戸隠野菜の提供と情報拠点
- 長野市街地との関係性
 - 戸隠公民館・戸隠体育館・森林囃子の一体的な活用
 - ・公民館は支所周辺の施設と統合・移転
 - ・体育館は、小・中学校にもある
 - ・公民館⇄森林囃子⇄体育館の連携
 - ・公民館→長野市街地からの合宿所へ(冬・夏の合宿)
 - ・川遊び+化石
 - ・以前は森林囃子でも宿泊ができた(調理室あり)
 - ・高校や大学の授業を戸隠で1か月間実施
 - ・企業のサテライトオフィスもOK
 - ・長野市街地からのアクセスもよい

今日のグループワーク

グループごとに 戸隠の公共施設の将来像を考える

18

全グループ共通事項

① 提案の「効果」と「課題」を書き出す

効果 = この提案によって良くなること。メリット。

課題 = この提案で逆に不便になること。今後に残る課題。

② 「自分たちにできること」を書き出す

19

グループワークの結果発表

1グループ 持ち時間 3分

「戸隠地区の公共施設を考える」 市民ワークショップ 第3回

まとめ

